



医療 ISAC Security Lecture 2024

#03

令和6年度診療報酬改定におけるセキュリティ要件、およびその対応の考え方

講師：江原悠介

日時：2024年3月22日（金）16:00～17:00 Google Meet によるライブ配信



講師略歴

医療 ISAC ステアリングコミッティ委員

PwC Japan 有限責任監査法人 リスクアシュアランス・ディレクター

ヘルスケアや金融等の社会インフラ向けのサイバーセキュリティやプライバシー関連業務に従事。医療機関・医療情報システム事業者による3省2ガイドライン対応、患者情報の二次利用に伴う ELSI ガバナンス構築支援等、官公庁ガイドラインやヘルスケア DX に伴うガバナンス設計へ精通する。

また、四病院団体協議会や全国保団連、全老健、ドック学会、日本保険薬局協会等の医療関係団体、または医療 IT ベンダと共同でのセキュリティ調査・レポート活動、各種セミナー講演等を通して、国内ヘルスケア分野のセキュリティ向上に向けた教育・啓発活動を行っている。

（その他現任）

- ・ 特定非営利活動法人 デジタル・フォレンジック研究会 理事（ヘルスケア分科会 主査）
- ・ 経済産業省 情報セキュリティサービス審査基準 技術検討会 委員
- ・ 徳洲会インフォメーションシステム（株） セキュリティアドバイザー

（旧任）

- ・ 経済産業省・総務省「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン」検討委員会 委員
- ・ 経済産業省 DX システムガバナンスに係る検討会 委員
- ・ 情報処理推進機構 社会実装推進委員会 民法改正 WG/セキュリティ検討 PT 委員





- ・ 内閣府 SIP 第 2 期「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」採択課題 /
- ・ 「AI ホスピタルの研究開発に係る知財管理等、システムの一般普及のための技術標準化・Open/Close 戦略、官民学連携のためのマッチング等に関する対応」プロジェクト 研究責任者経験者

講演要旨

2024 年度の次期診療報酬改定に向けた答申が 2 月中旬に行われ、点数や施設基準の改定結果が公表された。

診療報酬に係る様々な改定要件の中でも、医療従事者の労働時間制限や今後も増大する高齢者層の増大等を背景として、限られた医療資源を効率/効果的に配分していくための医療 DX という＜アクセラ＞に係る新加算が大きく追加されたことに伴い、セキュリティという＜ブレーキ＞についての諸要件も追加されている状況である。

たとえば、24 年度の改定では、診療録管理体制加算が小規模病院にも適用され、大規模病院にはオフラインバックアップの要件が課されることになった。しかし、オフラインバックアップとは具体的にどのような対応すべきなのか。オンプレシステムのデータバックアップの頻度や世代管理のありようとは？あるいは、クラウド型の電子カルテを使う医療機関ではどうすべきなのか？

それ以外にも、セキュリティ面が明示的に加算要件や施設基準に包含された点数、あるいは暗黙裡にそれを示しているため、今後の改定でその水面下の種まきを花開かせようとする（加算要件化する）ものもすでに見えている状況である。

今回のレクチャーではこうした直近の報酬改定におけるセキュリティに関する取扱いを通して、足元の要件対応に向けて行うべきアプローチに加え、今後の改定を見据えて検討すべき内容を解説する。

